

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腹膜透析患者における透析導入後のボディイメージ変容のプロセス

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年9月1日から2017年11月30日までに昭和大学藤が丘病院腎臓内科において腹膜透析治療の経過観察のために受診され、研究課題名 腹膜透析患者におけるボディイメージの認識 受付番号：F2017G27にて研究にご協力下さった方。

2. 研究目的・方法

腹膜透析を行う患者さんは治療により自分の身体の捉え方であるボディイメージに変化が起こることがあります。看護の分野においてはボディイメージに対するケアは重要視され、年々ケアの需要は高まっています。腹膜透析患者においても、治療により外見の変化が生じ、ボディイメージの変容を起こすため、ケアは重要です。しかし腹膜透析患者におけるボディイメージがどのように変化するか十分検証されていません。腹膜透析導入の方針が決定し、実際に導入するまでに生じる患者の認識は先行研究により明らかとなりましたが、透析を導入してから、どのようなボディイメージの認識のプロセスが生じるかは明らかではありません。

そこで本研究では過去に実施した研究（研究課題名 腹膜透析患者におけるボディイメージの認識 受付番号：F2017G27）にて収集し、「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報と腹膜患者にインタビューし収集した既存のデータを用いて、質的研究手法における内容分析により、透析導入後にどのようなボディイメージの認識のプロセスがあるのかを明らかにすることとします。これにより腹膜透析患者のボディイメージの変容に対し、どのような看護ケアを提供すべきか示唆を得るものとします。

本研究は学術研究であり、昭和大学藤が丘病院に通院した患者データを利用します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

研究期間

「保健医療学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学保健医療学研究科長、昭和大学藤が丘病院長の研究実施許可を得てから2021年11月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者診療録の中から、患者背景として年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴、腹膜透析導入方法として SMAP 法 (Stepwise initiation of PD using Moncrief And Popovich technique) の有無、腹膜透析カテーテル出口部の部位、腹膜炎罹患回数) を調査項目と致します。

また、研究課題名 腹膜透析患者におけるボディイメージの認識 受付番号：F2017C27 にて実施したインタビューデータを使用致します。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学保健医療学部看護学科 氏名：田村 由衣

住所：横浜市緑区十日市場町 1865 電話番号：045-985-6538

研究責任者：田村 由衣